

実務経験のある教員による授業科目（看護学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	看護
母性看護学概論	1	担当教員は、助産師としての実務経験があり、教育・研究活動を行っている。これらの経験を活かして本講義を行う。	○
母性看護論	2	周産期看護業務に携わった教員が教授する。	○
母性看護援助論	1	周産期の看護業務と助産業務および助産師教育に携わった教員が教授する。	○
母性看護学実習	2	臨床実習指導者が学生担当として看護実践における指導を行う。（週単位～数日単位で交代） 臨床経験をもつ教員が臨地に赴いて看護過程ならびに臨床側実習指導者と連携して指導を行う。	○
疫学・保健統計学Ⅰ	1	公衆衛生業務を担う公的な研究所でデータ収集、解析経験を持つ教員がデータの取り扱いや保護、データ分析の在り方・活用の考え方について講義を行う。	○
疫学・保健統計学Ⅱ	2	疫学調査・研究の実務経験のある教員が、実務に関連した授業を行う。	○
フィジカルアセスメント	1	本科目は看護師の実務経験を有する教員が、看護師経験を生かして講義および演習指導を行う。	○
グローバルヘルス	1	WHO、JICA、NGOで勤務経験のある教員が講義を行う。	○
保健医療福祉行政論Ⅰ	2	本科目の非常勤講師は、県型保健所、政令市保健所での管理職を含めた保健師経験、政令市保健所での環境衛生業務・市衛生研究所所長等の経験をもつ方々であり、学生にとっては、講師陣の豊富な活動経験から、保健医療福祉行政および内側・外側から見た保健師活動について学ぶ機会となる。	○
医療社会学	2	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を生かした授業	○
看護演習	1	各領域の看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
看護学概論Ⅰ	2	担当教員全員は、看護師としての実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義および演習を行う。	○
看護技術リファレンス	2	・医療機関や行政機関で看護職として実務経験のある教員が指導する。 ・臨地にて実習指導経験のある教員を含めて指導する。	○
看護研究Ⅱ	2	各指導教員が、それぞれの実務経験を活かして研究指導を行う。	○
看護提供システム論Ⅰ	1	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多重課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本講義および演習を行う。さらに、特定機能病院の看護管理者（看護部長・看護師長）が看護マネジメントの実際を教授する。	○
緩和ケア看護論	1	※1 名古屋市立大学病院の専門看護師の資格をもつ看護師が、非常勤講師としてがん看護学、緩和ケアに関する内容の授業を行う。 ※2 ELNEC-Jクリティカルケア指導者の資格をもつ教員が、クリティカルケア看護における緩和ケア、エンド・オブ・ライフケアに関する内容の授業を行う。	○
看護過程論	1	医療機関において看護職として実務経験のある教員が指導する。	○
ケアシステム看護学Ⅰ	1	本科目は医療施設で看護経験のある教員が指導する。	○
ケアシステム看護学Ⅱ	1	担当教員全員は、看護師としての実務経験がある。感染予防対策の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義および演習を行う。	○
健康支援看護学Ⅰ	1	周産期医療に携わった教員が担当する。	○
健康支援看護学Ⅱ	1	小児看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
健康支援看護学Ⅳ	1	慢性疾患看護やがん看護の業務に携わったこと経験のある教員が授業を展開する。	○
健康支援看護学Ⅴ	1	高齢者看護の実務経験を有する教員が教授する。	○
健康教育方法論	2	行政機関などで健康教育・学習の実務経験がある教員が指導する。	○
基礎看護技術Ⅰ	2	本科目は看護師の実務経験を有する教員が講義および演習指導を行う。	○
基礎看護技術Ⅱ	2	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり看護教育・研究活動を行っています。また、演習で実施する看護援助に関する視聴覚教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねています。これらの経験を活かして本講義および演習を行います。	○
救急看護援助論	2	一次救命処置・二次救命処置等の救急医療業務に携わった医学部救急医が講義する。	○
基礎看護学実習Ⅰ	1	本科目は看護師の実務経験を有する教員と、病棟看護師として現役の実務者である実習指導者が協力して学生の実習指導を行う。	○
基礎看護学実習Ⅱ	2	・医療機関において看護職として実務経験のある教員が指導する。 ・臨地にて実習指導経験のある教員が指導する。	○
急性期看護学実習	2	周産期看護、クリティカルケア業務に携わった教員と実習指導者が、実習指導する。	○

実務経験のある教員による授業科目（看護学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	看護
公衆衛生看護学概論	2	門間の行政保健師としての経験、教員になってから関わった保健師活動の様子などを取り入れて講義を行います。	○
公衆衛生看護学実習A	3	行政機関や企業等において保健師として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。	○
公衆衛生看護学実習B	2	行政機関や企業等において保健師として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。	○
公衆衛生看護活動論Ⅴ	2	行政機関などで公衆衛生看護活動に携わった教員が講義する。	○
公衆衛生看護管理論Ⅰ	2	非常勤講師のお二人は、愛知県、名古屋市にて保健師の統括的ポジションを経験された方です。個別支援のみならず、調整・管理的な保健師活動を実際例から教授いただきます。	○
公衆衛生看護管理論Ⅱ	2	保健師国家試験受験資格取得科目の最後に位置付けられる科目として、担当教員それぞれの保健師活動や現在の研究的取り組みを取り入れた教育内容となるよう、講義を行う。	○
高齢者看護学概論	1	大学教育に実績があり、看護師としての実務および高齢者施設で働く介護士・看護師を対象とした研修の実務経験者が教育に携わります。	○
高齢者看護論	2	高齢者看護の実務経験を有する教員が教授する。	○
高齢者看護援助論	1	高齢者看護の実務経験を有する教員が教授する。	○
コミュニティ・ヘルスケアⅠ	2	医師、薬剤師、看護師としての実務経験を有する教員および外部講師がそれぞれの職種の役割を講義する。	○
高齢者看護学実習	1	医療機関における高齢者看護の実務経験のある教員が指導する。	○
公衆衛生看護活動論Ⅰ	2	行政機関や企業等において保健師として実務に携わった教員が講義する。	○
公衆衛生看護活動論Ⅱ	2	行政機関や企業等で保健師の実務に携わった教員が講義する。	○
公衆衛生看護活動論Ⅲ	1	企業において保健師、学校において養護教諭として実務に携わった教員が講義する。	○
慢性期看護学実習	2	・慢性疾患看護やがん看護の実務経験のある教員が指導する。 ・慢性疾患看護やがん看護の実務経験のある実習指導者が指導する。	○
リハビリテーション看護論	1	看護師としての実務経験のある教員が実践での経験を含めながら教授する。	○
臨床栄養学	2	担当教員の仲森は管理栄養士養成大学で教鞭をとる以前、慶応義塾大学伊勢慶應病院で管理栄養士としての実務に携わった。その折、疫学調査に20年間参加し、食習慣が疾病の発現にどのように関与しているかを研究した。これらの経験を活かして講義を実施する。	○
臨地実習Ⅰ（看護学統合実習Ⅰ：看護管理実）	2	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多重課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本実習を行う。	○
臨地実習Ⅱ（看護学統合実習Ⅱ：看護統合実）	2	各担当教員が専門性を生かし教授する。	○
臨地実習Ⅲ（緩和・終末期系）	2	各領域に特有の看護について実務経験のある教員が直接担当し指導する。	○
災害看護論	1	非常勤講師の川谷氏は臨床看護の立場から、大橋氏は地域看護の立場から、被災地での活動経験を持ち、実際に基づいた被災者支援のあり方を教授される。	○
セルフマネジメント看護援助論	1	看護師としての実務経験のある教員が実践での経験を含めながら教授する。	○
セルフマネジメント看護論	1	臨床経験のある教員が実践での体験を含めながら教授する。	○
成人看護学概論	1	消化器外科・一般外科、手術室等で成人看護の業務に携わった教員が講義する。	○
精神看護学概論	1	精神科看護師として働いていた経験やこころの看護相談の体験を踏まえ、精神的な困難を抱えた方への援助の基盤となる概念を具体例を提示しながら教授する。	○
精神看護論	2	医療機関で看護職として実務経験のある教員が指導します。	○
精神看護援助論	1	医療機関および地域精神看護の実践現場で看護職として実務経験のある教員が自らの看護実践経験を踏まえて教授します。	○
精神看護学実習	2	医療機関及び精神科リハビリテーション施設で看護職として実務経験のある教員が指導します。	○
疾病・治療論Ⅰ	2	臨床経験を生かした講義	○
疾病・治療論Ⅱ	3	現役医師・現役薬剤師の経験も生かした講義である。	○
疾病・治療論Ⅲ	2	現役医師としての経験を織り込んでいる。	○
疾病・治療論Ⅳ	2	実際に臨床の現場で働いている医師による講義である。最新の治療法についても学べるので、疑問点は積極的に質問してほしい。	○
疾病・治療論Ⅴ	2	本科目は9名の兼任講師を含め教授する。講師は、医学研究科・名大病院群に所属し、診療を行う実務者であり、かつ、医学部における当該分野の教育経験がある。臨床医療の最先端を教授する。	○

実務経験のある教員による授業科目（看護学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	看護
疾病・治療論VI	2	最先端の診療や研究を担当している医師からの講義を受けることができる。	○
小児看護学概論	1	教員は1200床以上の大学病院で9年の実践経験がある。4年間はICU、救急部、腎疾患治療部（重症患者の透析導入の部署）、4年間の小児科病棟勤務、1年間は副看護師長として内科・外科の複合的な病棟（エイズ、結核、感染症など）での勤務経験がある。さらに1年間は保健師教育にも従事していた。看護師、助産師、保健師の国家資格も持っている。米国メイヨークリニック（1994, 1か月間）で看護師、助産師として研修を受けた経験もある。	○
小児看護論	2	小児看護業務に携わった経験のある教員が講義を行う。	○
小児看護援助論	1	小児看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
周術期看護援助論	1	消化器・胸部外科看護、手術室、集中治療室、救急等の業務に携わった教員が、周手術期看護について講義する。	○
小児看護学実習	2	小児看護業務に携わった経験のある教員が教授する。	○
地域・在宅看護論	2	看護師・訪問看護師・保健師の実務経験を有する教員による授業である。	○
地域診断方法論	2	保健師として地域診断とそれに基づく保健活動に携わった実務経験を有する教員が担当する。	○
在宅看護学実習	2	担当する教員は全員、看護師または保健師の実務経験を有する。在宅療養生活を支えるために必要とされる様々な社会資源とそれらの連携協働について、その中での看護職のあり方について、実践をもとに教授できる。	○
人体の構造と機能 I	2	臨床医として外来診療を行っている教員や医学部で最先端の研究をしている研究者が、医療人として知っておいて欲しい知識や研究成果について講義します。 一方的に与えられる授業ではなく、自分たちで調べて発表する機会も設けます。	○
人体の構造と機能 II	2	現役医師として、臨床での疾病との関連も説明	○

【専門教育科目】

全学共通科目	0
学部等共通科目	120
専門科目	0
単位数合計	120

【教養教育科目】

全学共通科目	24
学部等共通科目	31
専門科目	2
単位数合計	57

【合計】

全学共通科目	24
学部等共通科目	151
専門科目	2
単位数合計	177